

~人権が尊重されるまちをつくらう~

~身近な生活の中から学ぼう~

2024.6.21

第83号



人権・同和教育だより

丹波篠山

発行

丹波篠山市人権・同和教育研究協議会
TEL・FAX 079-593-1260
http://t-s-doukyou-hr.jp
〒669-2734 丹波篠山市宮田240
丹波篠山市役所 西紀支所3F
年3回発行 6・10・2月

丹波篠山市人権・同和教育研究協議会
2024年度活動計画について

5月18日(土)に「丹波篠山市人権・同和教育研究協議会 第26回定期総会」を開催しました。議案は2024年度活動方針および事業計画・予算を含め、すべて承認されました。

基本方針

- 1. 我が国の社会に今なお存在する部落差別をはじめ、あらゆる人権課題の解消を図り、すべての人の基本的人権が尊重されるまちづくりを推進します。
2. 「障害者差別解消法」「ヘイトスピーチ解消法」「部落差別解消推進法」等、人権関係法令の趣旨を踏まえ、人権課題の解消と人権文化の確立をめざす市民、事業者、団体、機関等と広く連帯し、差別のない共に生きる社会をめざします。
3. 人権・同和教育の学習活動の場を充実させ、差別を許さない市民意識の醸成、人権意識の高い人づくり・地域づくりに努め、こころ豊かな共に生きる市民社会をめざします。

活動方針(要旨)

丹波篠山市人権・同和教育研究協議会は、発足以来「差別の現実に深く学ぶ」ことを基本理念として、同和問題をはじめ、あらゆる人権課題の解消と人権文化の確立をめざして取り組んできました。

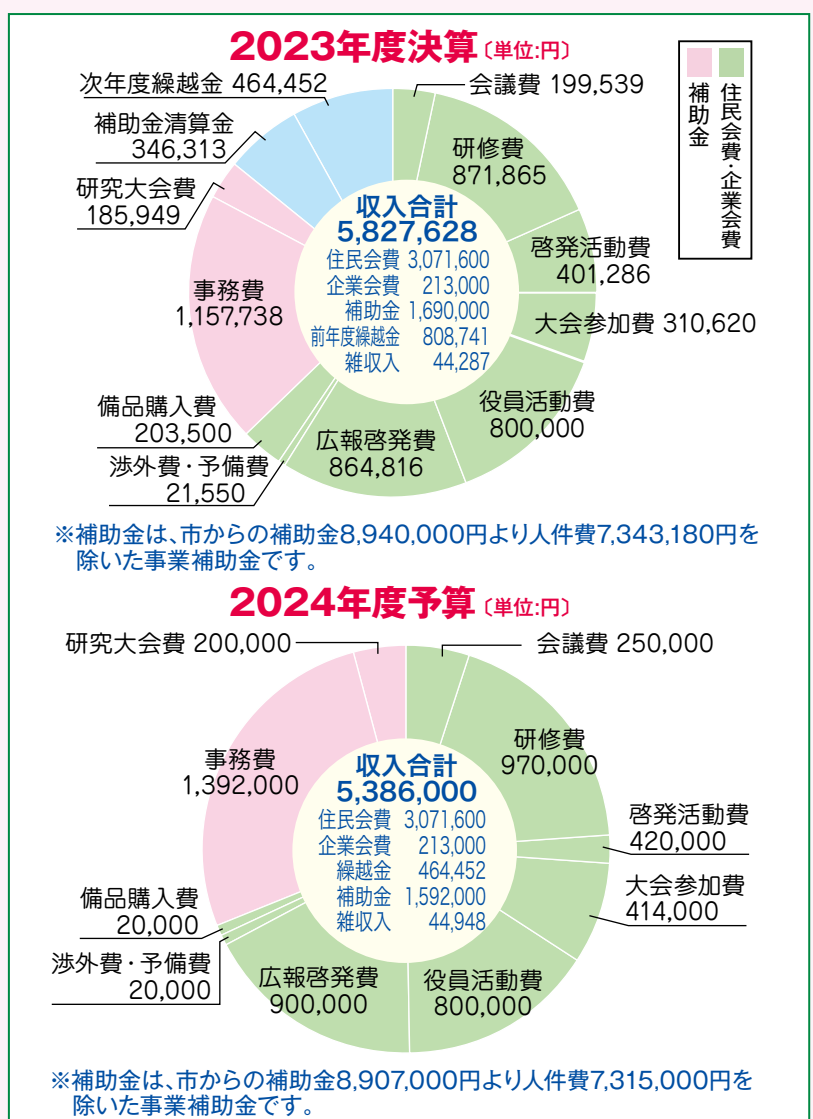
しかし、私たちの社会には、AI活用やネット上の人権侵害、産業構造の変化に伴う経済格差の拡大等による貧困、高齢者や子どもへの虐待、DVやいじめ、LGBTQ+などの性的マイノリティへの無理解、様々なハラスメント、ヤングケアラー問題等々解決すべき多くの人権課題が生じています。

さらに、今私たちは、気候変動や環境汚染、紛争やテロ等地球的課題を抱え、次の世代に繋いでいくためにも、誰ひとり取り残されることがない社会の創造を基本理念としたSDGs(持続可能な開発目標)の推進に取り組む必要があります。また世界では、子どもたちをはじめ、多くの人々が戦争の犠牲となっています。私たちは「戦争は最大の人権侵害である」との立場から、戦地の人たちの悲しみや苦しみに思いを馳せ「平和の大切さ」「命の尊厳」について関心を持ち続けることも大切です。

私たち市同教は、本年度も同和問題をはじめ多様な人権課題の解消をめざし「誰もが自他の人権を尊重し、自分らしく幸せに生きることができるまちづくり」の実現に向けて全力で取り組みます。

市同教では、引き続き「人間を尊敬することによって差別を克服していこう」という水平社宣言の理念を基軸にし、一人でも多くの市民の皆様へ人権・同和学习への理解や関心をより一層深めていただけるよう、研修や啓発の在り方を工夫します。

今後とも丹波篠山市同教は、全市民参加の教育・研究組織として、人権課題解消に向け邁進しますので、さらなるご支援・ご協力をいただきますようお願い申し上げます。



2024年度の出発にあたり



会長 五十山田 潤

「リスペクト(尊敬)」「多様性」「寛容性」これは、2022年全国人権・同和教育研究大会において、20年後を見据えた人権・同和教育をつくりあげるために示された3つのキーワードです。「リスペクト(尊敬)」は、人を尊敬することによって差別を克服していこうという水平社宣言の理念です。「多様性」は、その言葉の通り、様々な国籍・言語・性別等々の違いです。「寛容性」は、自分との異なりを排除するのではなく包み込む生き方を表わしています。市同教では、昨年度より3つのキーワードが持つ意味を基本方針に反映させてきました。

本年度も活動テーマを「誰もが自他を尊重し、自分らしく幸せに生きることができるまちづくり」と設定し、事業を進めてまいります。人権について学ぶことは、だれもが幸せになるために持っている権利について学ぶことですので、前向きで身近な学習です。市同教では、一人でも多くの市民の皆様にご参加いただけるよう学びの場を工夫します。本年度も市同教へのご支援・ご協力をお願い申し上げます。

「人権・同和教育セミナー2024」のお知らせ

差別解消のためには、だれもが人権課題について正しく理解すること、自分事として捉えることが大切です。人権問題が複雑化、多様化しているなか、部落差別の現実をみると、社会の矛盾や人権課題が見えてきます。本年度は部落問題をはじめ、様々な人権問題について学びます。そして、部落差別解消があらゆる人権問題を解消する原点であることに気づくために年間連続5回の「人権・同和教育セミナー」を開講します。皆さまの受講をお待ちしています。

- \*参加費：無料(原則は5回連続受講。ただし都合で選択も可)
\*会場：1回~3回は丹南健康福祉センター研修室、4回・5回は丹南健康福祉センターを予定していますが、3ヶ月前の予約のため変更になる場合があります。
\*申込締切り：7月19日(金)としますが、随時、市同教までお問合せください。
\*気象状況などにより変更・中止する場合があります。
\*第2回セミナーは障がい者部会研修会と兼ねますので手話通訳があります。

市同教ホームページから、会場確認や申し込み用紙のダウンロードができます。

Table with 4 columns: 実施予定日, 演題, 講師. It lists 5 seminars with dates, topics, and speakers.

申込先：丹波篠山市人権・同和教育研究協議会 事務局 電話/FAX：079-593-1260(月・火・木・金)





©2022映画「島守の塔」製作委員会

# みんなの人権を考える映画会

**入場無料!**

映画『島守の塔』 **とき** 2024年8月11日(日) 14:00~

**ところ** 丹波篠山市民センター・多目的ホール  
予約不要・当日直接会場にお越しください

第二次世界大戦の沖縄戦末期、本土より派遣された2人の内務官僚がいました。1人は沖縄県知事として赴任した島田勲(兵庫県出身)と、もう1人は島田と行動を共にした警察部長の新井退造です。2人は軍の命令に従いながらも、県民疎開・保護に尽力し、苦悩と葛藤に悩まされます。彼らは激戦地の沖縄で命を懸けて「命どう宝(命こそ宝)、生きぬけ!」と叫び続けました。この映画をとおして「平和と命の尊さ」を今一度、考えてみませんか。無料でご覧いただけますので、是非ご来場ください。

## 市同教フィールドワーク参加者募集!

### 水平社の理念から学ぶ ~人間の尊厳と平等を求めて~

1922年、部落差別の撤廃を願い、御所市の青年たちが中心となり、水平社が結成されました。その水平社運動の歴史と、差別と闘い道を切り開いた先人たちの足跡、遺志を伝えることを目的として水平社博物館は、1998年に開館しました。2022年3月水平社創立100年を記念して水平社博物館はリニューアルオープンしました。水平社の理念でもある、人間の尊厳と平等をより深く学びましょう。是非ご参加ください。



「いのち燦爛の燈」水平社博物館提供

**行き先** 西紀支所発 → 夢宗庵 昼食 ※寿司(生ものが含まれます) → 水平社博物館 着 ※ガイド付きと自由見学 → 水平社博物館 発 → 西紀支所 着

**日時** 8月25日(日) 9:00~17:00頃

**参加費** 1,500円(昼食代、入館料等)

**定員** 20名(先着順)

**申込受付** 7月1日(月)~7月30日(金)

**申込・問合せ**

丹波篠山市人権・同和教育研究協議会  
(丹波篠山市役所西紀支所3階)

月・火・木・金 9時~17時 TEL・FAX 079-593-1260



「常設展示室エピソード「ことばの美術館」」  
水平社博物館提供

## 研修に「丹波篠山の人権史跡」を巡る フィールドワークをしてみませんか?

人権史跡を知ることは、私たちの先人の生き様を知ることです。市内には、過酷な藩政に抗った人々の足跡や生活向上のために立ち上がった人々の碑、教育や文化の拠点など様々な史跡があります。そうした史跡を巡ってみませんか? フィールドワークを希望される団体には、丹波篠山市同教より、半日5千円の講師料を補助します。詳しくは丹波篠山市同教までお問い合わせください。

## 暮らしの中から

### 息子たちからの贈り物

私の長男は、生後二週間ごろに40度近い高熱を発し、股関節が腫れ上がり、その部位にメスを入れる切開手術を受けました。小さな体にメスを入れるなんて、親として半狂乱の状態に陥りました。そして緊急手術を終え、手術室の扉から出てきたその瞬間、「息子は、生きています!」という感情がほとばしり、涙があふれ出てきました。



また、次男は789グラムでこの世に生を受け、主治医には、「生き延びられたとしても、いろんな『しょうがい』を持つことを覚悟しておいてください!」と言われました。次男は、退院してからも、病院通いが、ずっと続きました。中学校三年生の時に、「早産の影響はずいぶん軽減されたので、診察を打ちきりましょう」と、主治医からの報告を受けた時、一つの大きな山を乗り越えた感慨深い気持ちがわきあがり、息子の愛くるしい瞳を、じっと見つめ続けていました。

そんな二人の息子たちに出会い、「親として、どう生きるのか!」と自問自答を繰り返していました。そうした日々のなか、生後間もない次男と一歳を迎えた息子たちと妻が写っている一枚の写真をいつも眺めていました。そうすると知らず知らずのうちに、二人の息子たちから、大切な宝物を授かっていた事に気がつきました。それは、「すべての存在が幸せに、平和に暮らして行けますように!」と一心に祈る気持ちが、私の心に芽生えていたことです。この一枚の写真は私にはかけがいのない宝物で、今でも私の心を生き生きと照らし続け、前へと進む「生きる力」を育ててくれています。

私の心には、喜怒哀楽をはじめ、人を激しく恨んだり、ののしったりする怨念の心や、感情にまかせて人に憤りをぶつけてしまう荒々しい心等々、様々な心が渦巻いています。そんな時、息子たちが命をかけて私に授けてくれた、一枚の写真を思い出し、すべての存在の永遠の「幸せ・平和」を一心に祈り続けています。そして、すべての存在に私自身の罪があり、その罪を、ほんの少しずつでも、息子たちから授かった祈りを捧げることで償うことができれば、幸いです。

森田 貞二

## 主な行事予定

\*7月27日(土)

兵庫県人権教育研究大会 丹波地区大会  
四季の森生涯学習センター

\*9月29日(日)

兵庫県人権教育研究大会 中央大会 赤穂市

\*11月30日(土)、12月1日(日)

全国人権・同和教育研究大会 熊本大会

\*12月14日(土)

丹波篠山市人権・同和教育研究大会 丹波篠山市立田園交響ホール



## 会報編集委員紹介

安井 聡博 西田 こそ枝 中井 慎太郎 森田 貞二

本年度も、上記の4名の委員で編集を行います。会報が皆様に親しまれ、人権をより身近なものに感じていただけるよう、紙面づくりにとりくみます。

※掲載しております研修会やイベントは、気象状況等により中止・変更する場合があります。市同教ホームページまたは電話(月・火・木・金/9時~17時)にてお問合せください。

## 編集後記



今年度の「みんなの人権を考える映画会」は、戦中沖縄最後の知事となった島田勲の実話をえがく『島守の塔』を上映します。第二次世界大戦で国内唯一の地上戦となった「沖縄戦」。そこで彼は軍の命令に従いながらも、苦悩と葛藤のなか「命どう宝(命こそ宝)、生きぬけ!」と県民たちに叫び続けました。

「戦争は最大の人権侵害」と言われます。世界では、今なお戦争やテロが無くなりません。毎日、罪のない人々が殺され、傷つき、悲しみがあふれています。メディアがこうした「最大の人権侵害」を報道するたび、心が痛みます。現在においても、島田が言い続けた「命どう宝」という言葉がとても重く、また命の尊さを感じます。

映画会は8月11日を予定しています。入場無料ですので、是非お越しいただき、平和の大切さを一緒に考えませんか。

## 役員紹介

- 会長 五十山田潤
- 副会長 細見 悟
- 植野 豊
- 藤田 泰造
- 瀧山 玲子
- 安井 健二
- 会計 原 幸弘
- 会計監査 辻井 昭文
- 圓谷 稔弘
- 顧問 溝畑 賢
- 理事(団体選出)44名

